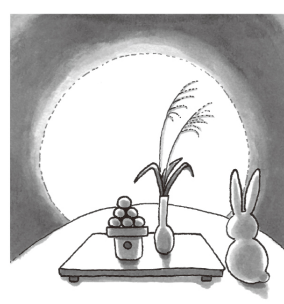




太陽の子保育園 2020年9月



応急手当ということで、ケガで歯が抜けたときの歯の扱い方を紹介します。

歯根膜（歯を支えている骨と、歯根の間にある薄い膜）の状態によっては、再生できる場合もあります。覚えておきましょう。

抜けてしまった歯の・・・

○歯根にはできるだけ触らない

○水では洗わない（浸透圧の関係で歯根膜の細胞が死んでしまう）

○消毒液などには浸けない（歯根の細胞が死んでしまう）

○砂などがついていても、そのまま保存液や牛乳などに浸ける。

○根元からきれいに抜けたのではなく、歯がかけた場合でも、かけらが大きければ使える場合もあるため、かけた歯も保存液や牛乳などにつけて持っていく。

○歯科医院を急いで受診。



ケガが治るまでを見てみよう

からだってすごい！

転んで足にすり傷ができてしまいました。傷口ではどんなことが起きているのでしょうか？

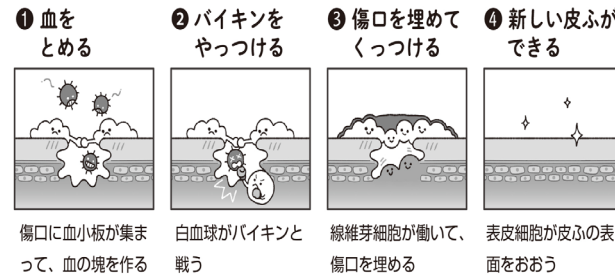


～登園に当たって～

●登園前に子どもの体温を計測し、37.5度以上の熱や呼吸器症状が認められる場合には、登園をご遠慮ください。

●発熱等が認められた場合は、解熱後24時間以上が経過し、呼吸器症状が改善傾向となったのちの登園をお願いします。

●同居家族が体調不良の場合は、園児の体調が良好でも登園を中止してください。



気管支喘息について

気管支喘息は、気道が慢性の炎症により過敏になっている病気です。炎症により狭くなっている気道をがんばって空気が通ろうとするので、ヒューヒューと笛を吹いたような音がなり、呼吸が苦しくなることを、発作性に繰り返す病気です。

年間を通しては、秋に症状が多く出る子が多いです。

喘息で苦しくなったら、まずは苦しい状態から解放してあげることが必要ですが、苦しくなったら治療するのは、苦しい事をしのぐだけの繰り返しです。

慢性炎症に対する治療が、次の発作を起こさないために大切です。

「風邪をひくとゼーゼーするけれど、いつも1週間もすれば治るか」といふように、咳や痰が治るまでには、医療機関に相談し、適切な治療を受けることが大切です。

災害は「今」「すぐ」かもしれない

1995年1月 阪神・淡路大震災	午前5時46分
2011年3月 東日本大震災	午後2時46分
2016年4月 熊本地震	午後9時26分
2018年9月 北海道胆振東部地震	午前3時07分

朝まだ夢の中にいるころ、お昼ごはんを食べて少し眠い授業中、夜お風呂に入っているとき…。

どこで何をしているときに、災害が起こるかはわかりません。

予測できないからこそ、日ごろからの備えが大切なのです。

もしも、今、災害が起きたら？

大切ないのち、守れますか？

もしも

新型コロナウイルスの心配がある中で、災害が起きたら…？

危険な場所にいるなら避難するのが原則です。

さらに、知っておくべき避難のポイントとして次の5つがあります※。

- 安全な場所にいる人まで、避難場所へ行く必要はない
- 安全が確保できる、親せき・知人の家への避難も考える
- マスク、消毒液、体温計はなるべく持参する
- 避難場所、避難所が変更・増設されていることもあるので、災害時は市町村ホームページを確認する
- 豪雨のときの屋外の移動は、車も含めて危険。車中泊をする場合は、浸水しないよう周りの状況を確認する

※内閣府「新型コロナウイルス感染症が収束しない中における災害時の避難について」より